

ぶらりわが街宮沢界限

⑩ 「五鉄」五日市鉄道 - Ⅲ - 遺構を歩く (2) (南中神→宮沢→大神)

- ⑤ 南中神～宮沢―「南中神」すぐ西の中神停車場通りを渡ると、住宅や駐車場で消えるが150m位から五鉄跡地道路がはっきりし、暗渠(あんきょ)の野水堀(のみずぼり)を超えほどなく、道路は南西にほぼ一直線で、「宮沢」は諏訪松中通りの信号を渡った角です。以前は、ホームの名残と思われるコンクリート台が残っていたが、今では取り払われ、貴重な痕跡(こんせき)は消えてしまいました。無人駅で、お客がないと通過したこともあったようです。「五鉄」は、昭和19年(1944)10月11日営業停止だが、「宮沢」は「武蔵上ノ原」・「武蔵田中」とともに、それ以前の同年4月1日、国有化の際に廃止されました。
- 野水堀(のみずぼり)―かつて、段丘の下にわく水を集めて流れる野川で、上川原町の日枝神社あたりを源として、昭和・朝日・中神・玉川・福島・郷地町を通して多摩川に流れ込んでいる、現在は、ほとんど暗渠(あんきょ)になって歩行者自転車専用道路として利用されています。



- ⑥ 宮沢～大神―「宮沢」からは、現在は舗装道路ですが、以前は途中から、立入禁止の看板があり有刺鉄線で線路跡は囲まれ、切り通しは埋められ、菜園や雑草で辿るのが困難になっていた。特に「JR八高線」と交差する小さな鉄橋の下は、急な切り通しで雑草が茂り、通れませんでした。近年、大工事により歩行者自転車専用トンネルが完成して、迂回していたのが、直線で結ばれ大変便利になりました。すぐ先「昭和通り」(当時は橋)の角が「大神」です。以前は、ゴミ捨て場になってはいたが、丸石積みのホーム跡が見られた。駅跡付近の線路敷きは、平成11年(1999)、「五鉄通り」として整備され、切り通しや、ホームの跡は埋め立てられてしまいました。しかし、平成12年(2000)3月に駅の跡地にポケットパークが設けられ、レール、車輪、信号等のモニュメントが建てられました。
- 昭和通り―奥多摩街道から「東勝庵」と「おこり地蔵」の間を、北に青梅線方向へ延びる道路で昭和道路とも言われた。昭和12年(1937)昭和飛行機株式会社設立とともにない、昭和13年(1938)12月25日、青梅鉄道「昭和前駅」(*昭和34年(1976)10月1日に「昭島駅」と改称)開業により、工場や駅に向う人々のために整備された。

記

防犯宮沢支部会計 西山 禎一

